

再び動き出した時間。 進化の鼓動が刻々と未来を紡ぐ。

1990年。バブル経済の絶頂期に誕生したツインタワー石打は、他の追随を許さない、圧倒的な豪華さと、充実した施設を誇りました。
それは、30年の時を経て変わらぬゆとりと、ラグジュアリーを維持してきましたが、元理事長の不正による、修繕積立費用の巨額流出によって、陳腐化が進んだり、稼働をやめてしまった設備すらありました。
その後、数年に渡る運営立て直しを経て、健全な管理組合運営の目途も経ちましたので、この数年は、通常の長期修繕計画に加えて、陳腐化が進んだ設備や、休眠設備を着々と再生して参りました。
そして本年は、ツインタワー石打開業30周年。まだまだ圧倒的なラグジュアリーさを誇るこの素晴らしい施設を、この先さらに輝かせ続けるために、皆様の知恵と工夫を結集した、さらなる再生、活性化を図っていききたいと思えます。引き続きご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

管理組合法人ツインタワー石打
理事会一同



①復活した暖炉(晩秋～初春)



②ラウンジのジャンボツリー(冬期)



③復活した滝(通年)



④新設したリラクゼーションコーナー(通年)

築30年のマンションの宿命として、色々な箇所の老朽化が進んでいます。そうした痛みが目立って来たところや、不具合が生じた箇所の修繕はもちろん必須です。
そうした修繕を継続的に続けつつの再生・活性化には、中々大きな予算を振り分けることができません。そこで鍵となるのが、知恵と工夫と真心です。
ツインタワー石打では、管理会社の多大なる協力の元、彼らの知恵と工夫と真心で、様々な修繕を大幅に内製化し、既定の管理費の範囲内での工事作業を実現してくれています。その範囲は木工事、電気工事、設備工事、塗装工事、コンクリート工事、装飾ディスプレイにまで及び、経費削減に大きく貢献しています。管理会社の皆さんには、この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。

再生・活性化の鍵は知恵と工夫と真心

